

山本 文雄

Fumio Yamamoto

第100代県会議長に就任した山本文雄氏。県会のベテランが50年ぶりの国体成功に向けて大役を任された。今、福井県は、政治家はどうあるべきか、どうすべきか率直な意見を聞いた。



Profile (やまもと・ふみお) 昭和9年8月2日生まれ。県立丸岡高校卒。ホームセンターみつわ設立。昭和51年から春江町議3期、議長2回歴任。昭和62年県議初当選。現在8期目。この間、常任委員会・特別委員会の各委員長、平成4年副議長、11年議長を歴任。30年5月再度議長に就任。83歳。坂井市春江町中庄。

国体を契機に福井の良さをPRしていきたい。 個性化や独自性が政治家に求められている。

更紗 議長就任にあたっての抱負をお願いします―

歴史ある福井県議会の第100代議長に選任させていただき身に余る光栄であり、責任の重さを感じている。

本年は元号が明治に改められてから150年になる。この歴史的な節目の年に、本県では50年ぶりとなる「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が開催される。全国で初めて国体と障害者スポーツ大会を融合して開催する大会の成功、そして、大会を

契機としたふるさと福井の更なる飛躍・発展に向けて、議会

会としても県と一丸となって全力を挙げて取り組んでいく。

県議会の役割は、県政の最終意思決定機関として県民の皆様の声が県政に反映されるよう、執行機関の施策について十分審議し、真摯に議論を重ねながら積極的に政策提言を行っていくことであり、昨年度は「みんなであつかわおう」ふくいの木』促進条例」「福井県手話言語条例」などの条例を議員提案により制定した。

また、より開かれた県議会を目指し、昨年度、代表質問

の審議状況をリアルタイムに文字化して提供するシステム

を都道府県議会で初めて導入したところであり、本年6月議会からは議会インターネット中継等に手話映像の挿入を始めるなど、引き続き、議会からの情報提供の充実に努めていきたい。加えて、本年度は任期の最終年度でもあり、先頭に立って議会を締めくくりたい。第一は国体を成功させ、こ

れを契機に福井の良さを全国にPRしていきたい。そのためには福井に来て本当に満足してもらえかが大事だ。

国体には多くの選手やその関係者が全国各地から必ず訪れる。その時の福井の印象が4年後の新幹線開業で福井を訪れるか大きな決め手となる。不評だったら新幹線投資が活きてこない。そうすると金沢の独り勝ちになってしまう可能性がある。夜8時を過ぎるとまちは真っ暗になり、一晩中でも遊べ